



相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

2学期始業式



九月三日(月)、二学期始業式を行いました。西校長から「小学生頃までは脳が未発達で丸暗記しかできないそうだが、中学生頃にかけて記憶や情報をいっ

たん取り上げ、つながりを作ったり、理屈を考えたりする脳の前頭前野が次第に完成していき、高校生頃になると論理だった記憶能力が発達するため、丸暗記してもスラスラと覚えられなくなる。東京医科歯科大学の川良健二教授は『原因・推移・結果などの情報を全体の流れの中で関連づけて一緒に覚えることが高校生にピッタリな記憶方法である。』(いつ・どこで・だれが・何を・結果)井戸だ、結果」と覚えるのがよい』と言っている。加えて、『感情を込めることで、ただの情報ではなく自分の心を動かした印象的な知識として記憶に深く残り、忘れにくくなる』とも言っている。一方、慶應義塾大学の



長澤瑛一朗教授は『ホップ・ステップ・ジャンプという復習のタイミングを設定しよう』と言っている。学習した日に一回目、翌日に二回目、翌々日に三回目、一週間後に四回目、一ヶ月後に五回目というサイクルで復習を繰り返すと忘れないそうである。このサイクルを確立できるように、まずはやってみることから始めてほしい。一年生は文理選択に入る。自分の将来像を描けるようにしてほしい。同時に基礎力を定着させる時期であるので、その工夫と努力を惜しまないでほしい。二年生は進路実現に向けて本気になる時期である。大きく変わってくる。後で後悔しないようにしてほしい。三年生は受験の不安や焦りが大きくなるばかりだと思いが、夏休み明けの頑張りが出てくるのは早くして三ヶ月後。精神的にタフでないといけない。自分や先生方の指導を信じて最後まで諦めず挫けず弱気にならず目標に向かっ

て突き進んでほしい」というお話がありました。その後、夏休み中の部活動大会結果の披露に引き続き、中村生徒指導部長が、①東京にある自動制御機器メーカー「鷲宮製作所」の新人社員研修を紹介し、社会に出たら「なぜこんなことをしないといけないんだ」と不平・不満に思うことがたくさんある。今もそう思うことがあるだろうが、そういうことをどうやって乗り越えるかということが重要である。乗り越えられる強い人間になってほしい。②不審者が増えているので気をつけるように。③自分の行動の善悪を判断し、自分自身をコントロールできるようにしよう、と話されました。

インスパニア・ハイスクール事業特別講義 「英語でコミュニケーション」 効果的な音読のあり方」



九月五日(水)六時間目、一年生を対象に、神戸市外国語大学教授野村和宏先生に「英語でコミュニケーション」効果的な音読のあり方」と題して講義をしていただきました。

講義では、最初に十数か国語をマスターしていった老成者シュリーマンを例に、英語学習におけ

四十回生 センター試験説明会

九月五日(水)六時間目、三年生を対象に、センター試験説明会を行いました。



まず、センター試験の志願票の書き方についての説明を聞き、下書き用紙に間違いがないように注意しながら、慎重に必要事項を記入しました。

次に、受験料の支払い方について、支払い者の欄は受験者本人の名前を書くこと、料金は必ず窓口で支払い検印を押してもらうこと、などの注意点について説明がありました。

センター試験の受験案内を手にしたことで、生徒たちはいよいよ受験が近づいてきたことを実感したようです。

本校と関西福祉大学との 高大連携協定締結

最近の教育のあり方の一つとして、地域と連携した「チーム学校」ということがよく言われます。本校でも、相生市や地元自治会等と連携して教育活動の充実を図っているところですが、この度、関西福祉大学と、学びの充実と生徒の成長に資する、さまざまなかたちでの連携や交流を行うことで合意し、高大連携協定を締結する運びとなり、九月十二日(水)、同大学にて双方の幹部教職員が参列して調印式を行いました。

連携協定締結により、生徒たちがより厚みのある経験を積み、新たな学力観として示された主体性や協働性等を培い、「生きる力」をさらに醸成してくれることを期待しています。

